

経営とITの架け橋 ～企業に寄り添うITレスキュー集団～

CIO Lounge Magazine

KAKE  HASHI

創刊特集 創設メンバーで語る

「未来に繋ぐ、架け橋への想い」



2022 autumn
創刊号

02 理事長 創刊のごあいさつ
 03 創刊特集 創設メンバーで語る
 「未来に繋ぐ、架け橋への想い」

活動紹介

- 09 中小企業経営基盤支援分科会
- 10 情報セキュリティ分科会
- 11 非基幹DX分科会
- 12 SCM分科会
- 13 セミナー基調講演
 - 新たな時代に向けたこれからのデジタル戦略とは
- 教育研修
 - 顧客視点での営業アプローチを考える
- ファシリテーター
 - ファシリテーター/パネラーとしてイベントに登壇
- 15 相談事例の紹介
 - 中堅製造業様からのIT中期計画立案からその実施についてのご相談事例
 - IT専門家のいない企業様からのサーバー更新についてのご相談事例
- Executive 総会
 - サポート会員様 Executive総会2021について
- 16 「IT Leaders」のコラムに投稿
 - 編集後記
- 17 正会員・アドバイザー紹介
- 18 サポート会員紹介
 - 2022年度サポート会員(法人)の募集要項



表紙について

瀬戸大橋

岡山県倉敷市と香川県坂出市を結ぶ10の橋の総称。1988年に全線開通。瀬戸大橋は四国と本州を陸路で結ぶ初の「架け橋」となり、その後の地域の発展の礎となりました。

CIO Loungeは企業経営者と情報システム部門、企業とベンダーなどの「架け橋」となり、中堅中小企業のIT化・DXの推進に貢献することを目的としています。



創刊のごあいさつ

皆様、こんにちは！CIO Lounge 理事長の矢島孝應です。今回私たちの活動を知っていただくために「CIO Lounge マガジン」を発刊させていただきました。「CIO Lounge について?会社、任意団体、それとも?」といった疑問を持つ方は少なくないと思いますので、創刊号ではCIO Lounge について設立の背景や趣旨をお伝えします。

私は大学を卒業後、松下電器産業(株)現パナソニックHD(株)に入社し、「IT革新なくして経営革新なし」の方針のもと理事としてグループ全社のIT部門責任者を務めました。

その後、三洋電機(株)を統合した際、執行役員CIOとして経営統合を担当。2013年に縁あってヤンマーに転職し、同社のIT化/DXを取締役CIOとして推進してきました。期せずしてIT活用には先進的とされる製造業3社でシステム責任者を務めさせていただきました。

しかし、その3社においても、まだ経営とITが一体で動いていないという実感を抱きました。何がその要因で、どうすれば乗り越えられるのか?そんな思いを他社のCIOやIT責任者とお話ししたところ、同様の懸念を持つ方々が少なくないことを確信し、共に設立したのがCIO Loungeです。CIOやIT責任者、さらには経営者の悩みを率直に伺い、同じ目線で議論する、あるいは「いわゆる壁打ち」の相手になる。私たちの知見やスキルを提供しながらそんな役割を担い、中堅中小企業の方々も含めた日本企業のIT化やデジタル化を加速させるために貢献するのが私たちの想いです。

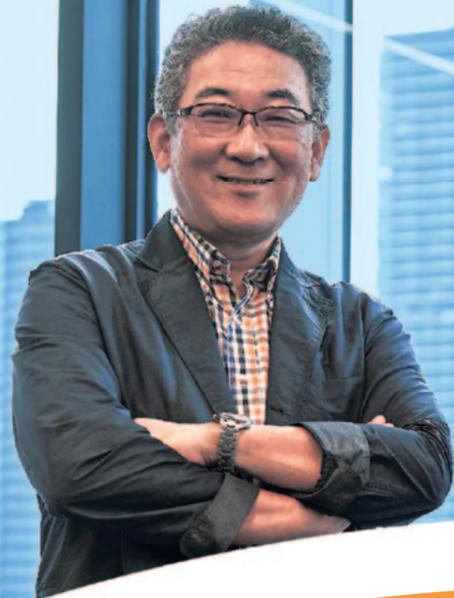


理事長 矢島 孝應

CIO Lounge ロゴマークの秘密



モチーフは架け橋と人の姿(人を横から見るとCIOの文字)。企業経営者と情報システム部門の架け橋、企業とベンダーの架け橋の意味。



創刊特集 創設メンバーで語る 未来に繋ぐ、架け橋への想い

CIO Loungeとは

2018年から活動を開始したCIO Lounge。本座談会では、これまでの活動や今後の展望などを理事長と理事らが語り合います。ITやDX化などで様々な課題を抱えるCIOや経営者に向けて、企業や経済活動の本質からの提言も踏まえた座談会となりました。

理事 加藤 恭滋

愛媛県出身。大和ハウス工業入社後、経理部門での会計システム構築業務やJ-SOX推進室長などを経て、情報システム部長や執行役員、上席執行役員を歴任してきた。趣味は読書とお酒、ゴルフ。

理事長 矢島 孝應

大阪府出身。松下電器産業(現パナソニック)入社後、アメリカ松下電器にてMISジェネラルマネージャーを経験。その後、本社の情報企画部長(理事)や三洋電機の執行役員CIO、ヤンマー取締役CIOなどを歴任してきた。趣味はゴルフとワイン。

理事 小林 謙

京都府出身。富士通にて5年間勤務した後、大日本スクリーン製造(現SCREENホールディングス)に転職。同社のIT企画室長を経てSCREENシステムサービスの代表取締役社長、会長、顧問を歴任。趣味は料理と登山、菊栽培。

情報システム責任者の叡智をまとめ デジタル化の情報発信拠点を関西に設立

矢島 CIOたちが互いに議論し合い、IT支援やデジタル化推進の情報を発信できる場を関西に作りたい。そんなコンセプトからCIO Loungeを立上げました。あえて「ラウンジ」という名称を採用したのは、それこそお酒でも飲みながら気軽に相談できるような場にしたかったからです。

小林 私が矢島さんたちからCIO Loungeの構想を教えていただいたのもお酒の場でしたよね(笑)。コンセプトが非常に明快で共感できましたし、ITのことを気軽に相談できる場は今後ますます重要になっていくと思います。

だから、その場で即「参加したい!」とお伝えして、発起人に加えていただきました。

加藤 小林さんがメンバーに加わってから、CIO Lounge設立に向けての動きが一気に加速しました。当時はホテルに泊りこみ、ホワイトボードを囲みながら、真剣に議論を重ねました。

そうして、2019年に特定非営利活動法人としてCIO Loungeを立ち上げました。

矢島 CIO Loungeのロゴは橋の上に人が立っている姿をイメージしたデザインです。

私たちの役割は「架け橋」という想いを表現しています。企業経営者と情報システム部門、企業とベンダーを

繋ぎ、ITやDXを推進するための課題を解決し、時代に対応できる企業を「社でも増やして、社会をよりよくするためです。

適切な情報収集やマッチングにより、デジタル化が進めば、日本の経済全体が強くなっていくはず。

小林 特に日本の製造業は、中小企業の加工技術がなくては成り立ちません。でも、そういった中小企業ほど、いざITやDXといわれても何から手をつけたらいいのか分からないというケースが大半なんです。

だから、ご相談については、そもそもITにできることを説明した上で、経営課題の切り分けから始めることがあります。

製造業、金融業、製薬業など 多彩なメンバーが集い広範囲にサポート

矢島 CIO LoungeはNPOとして活動していますが、活動のための費用は私たちの趣旨にご賛同いただいているサポート企業の方々からの会費で成り立っています。

設立当初は「ITやデジタル化の推進をもっと日本国内に展開していきたい」という想いを各IT企業の社長にプレゼンしました。需要喚起によって、業界全体のメリットになる点などもお話ししました。

スタートから約4年、今では著名な大企業から外資系企業の日本人まで、90社近い会社がサポート企業として登録してくださっています。

また、CIO Loungeの正会員も全部で46名、アドバイザーも入れるとトータル51名にまで成長しました。私も



含めて、全員が自主的に参画しています。

加藤 現役のCIOやIT責任者の場合、会社が副業を認めていないケースが多く見られます。

しかし、私たちはNPOなので、社会活動の一環として、ボランティアで参加できるんですね。そのため、第一線で働いている方々にとっても、情報収集や学びの場として参加しやすい条件になっています。

ありがたいことに、最近は参加してくださる方が増えました。

小林 業界だけ見ても、機械をはじめ、建設、食品、化学、金融など、かなり幅広いメンバーが揃っていると思います。

それぞれの目線から、ITを活用していかに経営課題を解決するかを提案できますので、お役に立てる場面も多

でも私たちは、ユーザー企業とITベンダーの間に立つ中立な立場です。

しかも無償でアドバイスさせていただいていますので、「ここまででええんちゃう？」といった意見もはつきり言えますし、より安価な代案や適切なITベンダーを付度抜きて紹介することもできるわけです。

加藤 矢鳥さんは色々な企業でCIOを経験されていますし、小林さんはSE経験もありつつIT畑一筋なわけじゃないですか。私はといえば、20数年間経理をやっていて、そこからITに入りました。

CIO Loungeに参加されている方々は、皆さん様々な背景をお持ちなので、本当に勉強になることが多いです。

小林 IT導入といっても、ベンダー企業の場合は、最初から商品や機能の説明が多くて、結局それを使用すれば、どのような課題が解決するのがわかりにくい場合が少なくありません。しかも、それを複数のベンダーさんがそれぞれの立場で言われる。企業内にITに精通したスタッフがいないれば導入そのものがハードルになってしまいます。私たちが持つ知見によって、そのハードルを下げる事ができるんじゃないかな、と思います。

分科会で具体的な課題を議論し経営に活かせる情報として研ぎ澄ます

矢鳥 CIO Loungeでは、「中小企業経営基盤支援」「情報セキュリティ」「非基幹DX」「SCM（サプライチェーンマネジメント）」の4つのテーマで分科会を設けて議論を交わしています。



いんじゃないかなと思いますね。

矢鳥 私を含めて皆さん「ITデジタル化で社会をより良くしたい」という使命感がとても強い。

日本社会全体が発展すれば、新たな市場が形成されます。コンペティター同士が争わなくても、それぞれの特性を活かせるビジネスチャンスも増えるはずですよ。

そういうビジョンを語りますと、皆さん目を輝かせてくださいますね。

小林 実際、CIO Loungeの活動を経て、より良いソリューションを生み出すべく、コンペティター同士が手を組んだという事例も実際に出てきています。

経営にITを活かすノウハウを多才な経験から無償で支援

加藤 IT化やDXの推進はどうしても即利益に結び付きづらい。だから、中小企業からすると後回しになりがちです。

現場だけではついつい後手に回りがちなITの課題に対して適切な支援ができれば、日本の製造業の復権につながるのではないかという思いがあります。

小林 製造業に限った話ではありませんが、中小企業だとどうしてもITに詳しい人材が少ない傾向があります。

ITを支援するにしても経営の視点は不可欠なので、きちんと両面からアドバイスできればと思いますね。

加藤 例えば、ITベンダーの方も、自社の商品には自信を持っていますし、伝えたいという熱意があるのはいいのですが、会社の経営に与えるインパクトまできちんと説明できる営業の方はまだまだ少ないと思います。

そこで、ITベンダーの方々にもCIOの目線からアドバイスをしています。結構厳しいこともガツンとお伝えしていますね(笑)。



矢鳥 CIOや企業のIT部門というのは「そのソリューションが自社の課題解決にマッチしているかどうか」の見極めが問われるポジションですから、そのマッチングに苦労されている方のお力にはなれると思います。

それこそITベンダーに依頼すれば何百万円とかかるような内容でも、実はその課題を解決するだけなら数千円の出費で済むといったケースもあるんですね。

各ITベンダーもビジネスなので、数千円で課題解決できるような代案があつてもなかなか教えてくれません。

私は、これまで3社でITの責任者を務めてきましたが、

長年解決できなかった課題がいくつもあります。

そうした経験から、多くの企業が抱える課題解決に少しでも役立つよう分科会で取り上げているのです。

小林 どれもすぐに結論が出るようなテーマではないからこそ、議論する意義があります。しかも多種多様な業界の人材が集まっているわけですから、課題の解決の糸口も複数の視点から探ることができます。

矢鳥 そうです。たとえば情報セキュリティひとつとってもITベンダー企業の提案するままに機能やシステムを上乗せしていくと、本当に際限がありません。

それこそ「お金を守るために大きな金庫を作ったのに、金庫が完成する頃には中に入れるお金がない……」みたいな事態になりかねないわけです(笑)。

だからこそ、何の観点で、どこにお金をかけるべきなのか、しっかりと検討すべきなのです。

加藤 情報セキュリティに関しては、何を守るべきか定まっていないまま、危険性だけを煽ってしまったこともよくありますね。

そもそも守るべき「情報資産」とは何なのか、どう整理していくべきなのか、そういった非常に大きなテーマについても分科会で議論しています。話し合った内容が、各社の経営の参考になれば何よりです。

矢鳥 経営視点から本当に必要な情報は何か、そして様々なリソースを適切なタイミングで活用するにはどうすればいいのか、ということですね。

いまだに解決できていないテーマが多々ある中で、皆さんの知見を持ち寄って整理していくことで、次につながるアウトプットが出来るんじゃないかと考えています。

**ITやデジタル化を切り口に
自由に意見交換し日本経済の
土台再構築に生かしたい**

矢島 立場に関係なく自由に意見交換できる点がCIO Loungeの魅力です。ITベンダーやユーザー、コンサルなどの垣根を超えて、課題の取り組みなどを、様々な視点から検討し合える場は、非常に貴重です。私たちの活動は、ある意味、ITやデジタル化という切り口を通じて強い「株式会社日本」を復活させていくことです。

次世代のために、日本という国の将来を支える経済の土台を再構築していく必要がある。この課題意識は、ユーザー企業、ITベンダー企業の立場に関係なく、共通しています。

そういう価値観に共感してくださる方が自然とCIO Loungeの仲間になってくださっていると感じます。

小林 CIO Loungeはまだ認知度が低いので、今後仲間を増やしていくために、具体的な活動内容をもっと世の中にアピールしていく必要があると感じます。広報については今後の課題ですね。

加藤 CIO Loungeのメンバーには大企業経験者の名前が並ぶので、中小企業の方からするとどうしてもハードルが高いと感じられるようです。

「本当に相談していいのか分からない」というお声もしばしば聞くのですが、どんな相談でもいいですからぜひ来ていただきたいというのが本音です。

そうした存在であることもしっかりと伝えて行きたいです。



すいというのはあると思います。

矢島 ITのコンサルに相談すると、それこそ何百万円、何千万円とかかることも珍しくありませんが、CIO Loungeだと基本は無償で相談していただけます。正会員のメンバーは豊富な知見を持つ方々なので、安心できます。ぜひ気軽に利用していただけたらと思います。

小林 いろんなことを相談すればいいの分からないという方も多いのですが、「こんなことを聞いてもいいんだろうか」と思うようなことも大歓迎です。皆様の相談にお答えすることで、私たちも日々勉強させていただいています。

加藤 特に中小企業の方々の実情は直接お話を伺わないと分かりません。商工会議所の方と議論したり、皆様からリアルな声をいただいたりしながら、今後より良い提案ができるようにさらに学びを深めたいと思っています。

**より良い社会を実現するために
ITやデジタルを高度利用し、
未来につなげる**

矢島 CIO Loungeは設立から4年、本格的な活動を始めて2年になります。この期間で、サポート会員の方々や仲間を増やしながら走り続けてきたわけですが、そろそろ発信してきた内容を様々なメディアに形として残していく時期が来たとも感じています。

日本の将来を見据えると、高い志を持ったCIOをもっと育てていく必要があります。後進のCIOが育つていけば、日本企業におけるIT化やデジタル化への加速が進み、中小企業を含め日本企業を良くしていくきっかけにはなるでしょう。

そのためにも、私たちの活動や考え方をもっと広く知っていただくための取り組みにも力を入れていきたいのです。

加藤 この活動を未来につなげるには、より早いサイクルで成果を出しながら、世代交代を図っていく必要があります。

だからこそ今から10年先20年先のために準備をしておかないと間に合いません。私の場合は、CIO Loungeの立ち上げによって後継を育てるチャンスをいただけたと思っています。

長年培ってきた知見を次の世代に語り継いでいくことができる、この場にいられることがとても誇らしいです。

小林 CIO Loungeの活動で気付いたのは、ミッションは基本的に皆同じなんです。置かれている立場とか責任の範疇が少しずつ違うんですね。目指す方向は同じでも、様々な角度から一つのものを見ることができ。それが



**経営者にITやデジタル化を
進めるための組織づくりや
意識改革もアドバイス**

小林 CIO Loungeには様々な相談が寄せられます。その中でも、社内のレガシーシステムを切替えたいが、経営陣の理解が得られない、もしくは現場の協力を得られないといった、経営的課題が大半を占めます。

矢島 私たちの役割は、ITやデジタル化に関して、経営目線からアドバイスを提供し、最初のトリガーを引くこと。つまり、最初の0から1を達成するための組織づくりや経営者の意識改革に関わるアドバイスです。あとの99は企業によって異なります。

最近の事例だと、ある東証上場企業の取締役会でITと経営に関するプレゼンをしました。役員クラスの考え方を変えるきっかけにもなり、非常に喜んでいただきました。こういった仕事が多いので、具体的な活動事例を皆様にご紹介しづらいというのが悩みです。また、短期的に経営効果を可視化するのは難しいとも言えるでしょう。

小林 ITベンダー企業のプレゼンとなると、利害関係がある分、聞き手も警戒してしまいます。一方、私たちの場合はITやデジタルツールの需要や経営に対する効果などを利害抜きでニュートラルに話せる分、こちらの意見を素直に聞き入れてもらいやすい利点があります。

加藤 あとは、メディア関係の講演会などに登壇させていただく機会も多いですね。

ITベンダーが主催するイベントとは違って、自社サービスの売り込みがない中立の立場でお話ししますので、経営者など決定権のある方々からしても意見を取り入れや



私たちの強みだと思います。

矢島 自分の子供の世代、孫の世代に向けて、この国を経済で支えていく。支えるための切り口として、私たちの活動がITやデジタルであると考えています。

小林 もちろん発信していく側の責任はありますが、CIO Loungeの活動をしていると、私たちの経験や知識は、もつと多くの方のお役に立っているのではないかと強く感じます。

加藤 自分の知見を活かして、日本社会をより良くしたいという思いがある仲間を、CIO Loungeではいつでも歓迎します。

矢島 お酒を飲みながら、一緒に語り合えましょう(笑)。

Subcommittee 中小企業経営基盤 支援分科会



上段左から橋高、四本、堀川、下段左から本郷、松井、加藤(リーダー)、齊藤

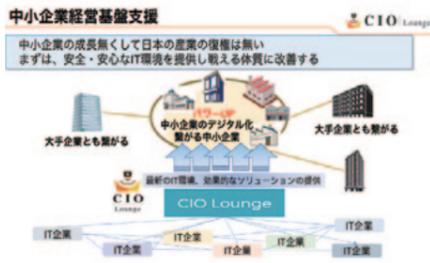
中小企業の活性化無くして 日本の製造業の復権なし

製造業は中小企業からの部品などの供給が無くては成り立たず、その能力が日本製品の市場競争力を支えてきたことは周知の事実です。しかしながら、現在のIT化などの遅れにより過日の面影が薄れ製造業の力も総じて減退してきました。CIO Loungeでは中小企業がチャレンジできる体制に転じるためのIT基盤を提供することで製造業の復権に貢献したいと考えています。

中小企業が力を合わせることで 大企業並みのIT環境を獲得する

日本製造業の要である中小企業を ITの側面から支援します

中小企業一社では、安全・安心なIT環境を構築・維持することは財務的にも人材的にも難しい状況です。一方ITベンダー各社も中小企業マーケットの魅力はあるが、どの様にすればビジネスとして成功するのかが見いだせない状況でもあります。そこでNPOの強みを生かし、ITベンダーの優れたソリューションを取りまとめ安全で安価なIT基盤が提供できるモデルを研究し、中小企業各社が安心して事業を推進できる環境を提供したいと考えています。これは、ITベンダー各社においても新しいマーケットへの手がかりとなり魅力的なチャレンジではと考えています。



CIO LoungeがIT企業の力を結集し中小企業のデジタル化を支援 (出典:CIO Lounge作成)

難しい問題に四苦八苦(お詫び)

昨年7月から1年強をかけたIT基盤のあり方や展開方法について検討を重ねてきましたが、未だに結論に至ってはいません。また、本年1月には多くのサポート会員の皆様からご協力の申し入れをいただきましたが、それにお答えすることも叶わず大変申し訳なく思っています。

特に展開方法については、地域での展開を考えていますが、各地域の中小企業と接点を多く持つ商工会議所や商工会にも様々な課題があり、優先的に取り組むことが困難な状況もあるようです。また、中小企業経営者の問題意識も当然ながら売り上げの向上や利益の創出が強くIT環境の整備やセキュリティ対策への関心は薄い状況です。この様な中、如何にして関係者と問題意識を共有するかが喫緊の課題であると再認識しています。

まずは成功事例の積み上げから

現在一部のサポート企業の協力を得てIT基盤の構成と集中運用体制の初期モデルが纏まってきました。このモデルをベースに協

Subcommittee 情報セキュリティ 分科会



左から、原・金森・坂上・四本(リーダー)・尾内・田井

情報セキュリティに関する諸問題を 経営視点も交え解決の支援を行います

IT:セキュリティ部門の大きな役割です。当分科会では、IT:セキュリティ部門が抱える様々な課題や問題点について、ユーザ企業・サポート企業一体となって検討し、解決の糸口を見つけ、最終的には事業の成長に貢献することを目的としています。

サポート企業と共同でセミナーや パネルディスカッションにも参加

2021年11月、経営者とIT部門を繋ぐ「架け橋」となるというCIO Loungeの原点をテーマに、ユーザ企業・サポート企業合計20名のご参加を得てセミナーを開催しました。まず、金森アドバイザーから「経営者の2極化進むセキュリティ: 解決手段はどこに?」と題した基調講演の後、「如何にして、経営者とのコミュニケーションバイパスを構築するか」「実際にセキュリティ強化に取り組む際、どのように体系的・網羅的かつ継続的に進めることができるか?」の2テーマをグループ討議頂きました。

2022年5月には、CIO Lounge主催、トレンドマイクロ(株)支援によるボードゲーム「工場におけるサイバーインシデント対応」を行いました。これは、参加者それぞれに



工場セキュリティ・ボードゲームでは、各チームとも議論が白熱

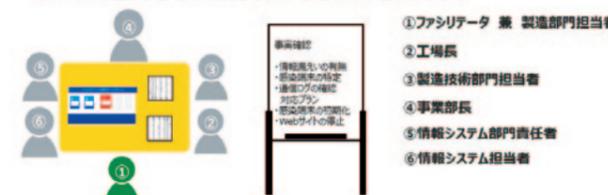
事業部長・工場長・IT責任者などの役割を演じていただくシミュレーションゲームで、どうすれば適切な対応を図ることができるか、活発な議論をお願いしました。IT部門と工場部門のセキュリティに対する課題認識の違いが浮き彫りになりました。ユーザ企業が直面する問題を、愚直に議論し、指針となる方向性を提案する

当分科会では、ユーザ企業が直面する以下のような課題や問題点を今後も議論する予定です。

- グローバルセキュリティの対応
- セキュリティ事故に対する対応方法
- セキュリティ組織の構築、予算獲得法
- セキュリティ人材の採用や育成
- 中小企業におけるセキュリティ対策
- ユーザ企業・サポート企業の皆さんとの活発な議論を通じて、指針となる方向性を今後も提案して行きたいと考えています。

インシデント対応ボードゲームとは

- ボードゲーム様式による体験型のセキュリティインシデント演習
- 組織内でイベント(インシデントの種)が同時に複数報告される中、チームで協力して事象分析や対応方針を検討する



2022年5月13日「工場におけるサイバーインシデント対応」セミナー資料 (出典:トレンドマイクロ(株)作成)



インターネット環境は既存のものを活用 既存PCのセキュリティも追加した場合のイメージ

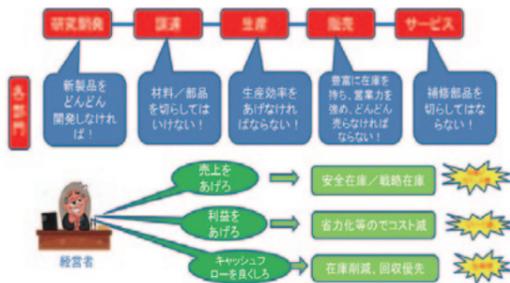


中小企業(左下)に安全なPCを提供しクラウド環境と集中管理体制でサポート (出典:CIO Lounge作成)

力していただける中小企業を募集しPOC(実験的に行う検証)を実施したいと考えています。このPOCから成功体験を積み上げ初期モデルをブラッシュアップし普及モデルに成長させたいと考えています。

SCMとは「原材料調達から顧客への提供に至るまでの製品供給に関わる全ての活動において(顧客満足最大化)と(コストの最小化)を目的として、企業内及び企業間 にわたる全プロセスを(全体最適)の観点から再構築すること」と定義されています。ここで難しいのは「全体最適」という観点で、如何に「価値観を共有する」ことだと考えています。言い換えれば、何を第一義として、SCMをデザインしていくのか、幹部会員の共通理解が必要です。

●売上増なら、売り損じをなくし、お客様の要望をできる限り受けるデザイン



SCM推進の経営効果は? 相反することに優先順位をつけることが重要!(出典:CIO Lounge作成)

最終的なアウトプットはノウハウの纏めと、事業環境に即したSCMのパターン化

コンシューマー商品、B2Bビジネス、製薬、衣料、住宅、化学等の幅広い業界で活動頂いて

優先経営課題	重点施策	KPI管理ポイント												
		売上高	営業利益	稼働率	在庫	仕入	販売	顧客	品質	コスト	環境			
売上増	販売	営業	製造	物流	販売	仕入	顧客	品質	コスト	環境				
	ラインアップの拡充	販売力強化	生産力向上	輸送効率向上	在庫最適化	仕入効率	顧客満足	品質向上	コスト削減	環境負荷低減				
利益増	販路拡大	生産計画遵守	販売計画遵守	在庫最適化	仕入効率	顧客満足	品質向上	コスト削減	環境負荷低減					
	販路拡大・顧客満足向上	生産計画遵守	販売計画遵守	在庫最適化	仕入効率	顧客満足	品質向上	コスト削減	環境負荷低減					
キャッシュフロー強化	販路拡大	生産計画遵守	販売計画遵守	在庫最適化	仕入効率	顧客満足	品質向上	コスト削減	環境負荷低減					
	販路拡大	生産計画遵守	販売計画遵守	在庫最適化	仕入効率	顧客満足	品質向上	コスト削減	環境負荷低減					

売上げか、利益か、キャッシュフローか? 経営の狙いに応じたパターン化の一例 (出典:CIO Lounge作成)



上段 左から河村・提督・尾内
下段 左から石野・本田(リーダー)・藤城

経営の狙いに応じたSCMを構築するためにこの分科会を発足

●利益率向上なら、徹底的に付加価値が高く、営業利益率の高い商品やビジネスを優先したデザイン

●キャッシュフローの良化なら、無駄な部材、工程在庫、商品在庫をなくし、支払いは遅めて回収は早くするデザイン

●このように、それぞれの狙いに応じたSCMを構築しないといけないはず。SCMは経営そのものです。

このような課題認識の下、CIO Loungeの理事のみならずの強い思いを具現化するためにこの分科会が発足しました。

現場で本当に役にたつ「現実解」を提供することを目指して活動中

【狙い】

経営データのインテリジェンス向上を目指して、「需給管理の最適化」を中心に、販売増、利益増、CF良化等を達成する「現実解」を議論し、ノウハウとしてとりまとめる

【検討のポイント】

- 経営トップのニーズを如何に分析し、どんな経営情報システムをつくるか
- どんなデータを、どう集めて、どう分析するか
- 売上拡大、利益拡大、キャッシュフロー改善のどこに焦点を当てるか
- 如何に組織化して関係部署の連携を高めるか
- ビジネスモデル別に検討(受注生産、見込み生産、季節変動性など)

この分科会においては、メンバーの衆知を結集して、現場で本当に役に立つ現実解を求めていきます。

最終的には、こういう重点施策に対しては、どういう事を行った方が良く、といった提示まで踏み込んでいきたいと考えています。

いるメンバーのもので、検討会を実施し、まず「適正在庫」、「KPIの考え方」、「販売見込精度向上」等のSCM基本要件を議論すると共に、重視する経営方針に応じたSCMのパターン化の叩き台を作成しました。今後、この叩き台をブラッシュアップすると共に、業界、業態、商材の違いをどう考慮していくのかについても検討していきます。

SCM分科会

製造業におけるSCMをパターン化し、「需給管理の最適化」のための現実解を追求します



モノの流れ(情報) / 情報の流れ(情報流)



左から名和・小林・提督(リーダー)・松山・岩下、左上 梓 友岡

非基幹業務のDX対応は、現状どの企業も進め方などで苦労している

日本企業のDXの対応について現時点での状況を見ると、ERPを中心とした基幹系業務については各社とも対応方針を決め、具体的な再構築に向けた対応が進められている状況です。

一方で、ERPプロジェクトなどでカバーされない、コミュニケーション系などに代表される、いわゆる非基幹業務の領域について

リモートワークの今後の在り方について、ユーザー企業9社の1T責任者によるワークショップを2回開催し、その成果は外部セミナーでも発表

経営に寄与するための非基幹業務のDXとは何か、その答えを探っていきます

はそのDX化対応が部門に依存しているケースや、または推進組織が曖昧なことが多く、全社的な対応として進めている企業はまだ一部に限られていると考えられます。

よって各社の非基幹業務のDX化への現状の取り組み課題や悩み、将来に向けたあるべき姿などを議論し、ユーザー企業、ベンダー双方に有益な情報を発信することを目的としています。

リモートワークについて

ワークショップを2回開催し、その成果は外部セミナーでも発表

リモートワークの今後の在り方について、ユーザー企業9社の1T責任者によるワークショップ

CIO Lounge

働き方改革 → 企業競争力の確保と、社員の安心・安全な生活の実現

・経営と推進(プロジェクト)、現場各部門が一体となり、新しい働き方に変えていく

①従来の働き方や制度、考え方の踏襲や延長ではなく、根本的な業務変革の実行
②企業文化・風土の意識変革
③新たなワークスタイルをつくりあげる知見の習得

・IT部門としては、ICTの基盤整備とIT活用人材の育成は必須

働き方改革のねらいとやるべきこと (出典:CIO Lounge作成)

非基幹DX分科会

経営に寄与するための非基幹業務のDXとは何か、その答えを探っていきます





セミナー 基調講演

新たな時代に向けた
これからのデジタル戦略とは

2022年6月23日、24日
TECH+EXPO 2022 Summer for
データ活用データから導く次の一手
講演者：矢島孝應

DXの本質は
「Bx by Digital」にあり

昨年実施したアンケート（※）では、自社が「IT先進企業である」としたのは僅か1%、「平均以上」も含め47%、残り53%は「遅れている」と認識していることが判明しました。さらに経営者とIT部門が相互に連携しているとの回答は27%、2/3以上が理想の状態にほど近いということでした。

この1年で日本のIT化は大きく進展しましたがその牽引役は新型コロナでした。デジタル庁やリモートワークもコロナという「外圧」により加速したといえます。コロナ禍での気付きは、多くの紙の存在や連携上の不備など従来システムでは対応困難な課題が多いということでした。しかしこれらはIT部

ファシリテーター

ファシリテーター / パネラー
としてイベントに登壇

2022年5月27日
サイバーリゾリューション合同会社様
出席者：矢島孝應 金森喜久男 田井昭
四本英夫

門だけの問題ではなく全社レベルの課題でもあります。

これらは単なるIT化ではなくビジネス自体の変革、まさにDXの必要性を示唆しています。DXとは経産省の定義によると「データとデジタル技術の活用による製品サービスやビジネスモデル、業務、組織、プロセス、企業文化、企業風土の変革」となりますが、まさに「ビジネスを変革するためにITを駆使すること」が本質です。しかしこれは経営陣の直接的な関与が求められていることも示しています。コーポレートガバナンスの観点も含め自社の使命を再確認した上でDX推進の方向性を見極めていく必要があります。そしてその方向性を決めるのが経営者自身であることを忘れてはなりません。

※2021年9月17日、講演中に中堅大企業200社対象にオンラインで実施



2022年5月27日同社が主催するセミナーに矢島理事長・金森アドバイザー・田井理事・四本情報セキュリティ分科会リーダーが出席しました。本セミナーは「トップランナーと考えるこれからのサイバーセキュリティ」と副題を掲げ、Webでのリアル視聴者は900名を超えました。

矢島理事長、続いて金森アドバイザーが講演を行った後、矢島理事長がファシリテーターを、金森・田井・四本、さらに同社の本城CIOが加わり、パネルディスカッションを行いました。議論の中では、企業内におけるセキュリティ組織構築やその運営、経営者の理解度合い、IT系・OT系におけるセキュリティ対策の取組みなどをテーマアップしました。セミナー後のアンケートでは、「IT責任者が抱える社内の、構造的な問題に寄り添った内容だった点は、非常に共感出来ました」「経営者に理解してもらったために情報収集をする側の自分でも非常にためになりました」「パネルディスカッションは非常に参考になりました。セキュリティの必要性の伝え方、社内への周知は永遠の課題だと思っています。経営者側の考えはあつてないようなもので、いかに先導していけるかが鍵だと感じています」等好意的な評価が寄せられ、主催者のサイバーリゾリューション合同会社様からも感謝頂きました。

サポート会員様主催のイベントに
参加して企業のIT化を支援

教育研修

顧客視点で
営業アプローチを考える

2022年、5月27日
タリウム合同会社様営業研修会
講演者：矢島孝應、提督眞賜、田井昭、
加藤恭滋

サポート会員であるタリウム合同会社様に對しては、昨年に引き続き二度目の営業研修会を開催しました。今回はオンラインが主体でしたが、リアル開催での要望が多く、直接議論する機会を得て開催することになりました。今回のテーマは「CIOが抱えるビジ



ネス課題に対する適切なアプローチとは？」で、パネルディスカッションと営業メンバーによるグループワークの2部構成で行いました。グループワークにおいては、6〜7名の営業担当者に加え、CIO Loungeの理事が1名ずつ各グループに参加し、顧客に対する営業アプローチポイントを議論の後、その結果を発表しました。この結果に関しては、競技形式を導入し参加者の採点により順位決定を行うて内容を競いました。各アープルの課題・顧客、さらにはその背景や環境が異なる中で、個別対応の部分もあるが、共通の部分も見られ、顧客側から見てどのようなアプローチが有効であるか、白熱した議論が交わされました。



Case study 相談事例の紹介

ユーザー企業の課題に対し CIO Loungeメンバーが 解決支援

中堅製造業様からのIT中期計画 立案・実施についてのご相談事例

中堅製造業様が社内でも中期計画を立案するに際し、IT部門に対しIT中期戦略を作成するよう指示がでたそうです。当初はコンサルへ提案依頼をしようと考えられていたましたがその依頼はやめて、自社で立案することにされました。ただ、ITメンバーが経験不足のこともあり、IT戦略の立案からプロジェクトの推進の仕方についてCIO Loungeにご相談がありました。

ITでどのようなところを強化したいかを経営者様から聞き出し、合意形成していくプロセスの中で、プレゼン資料を拝見してコメントを述べさせてもらったり、課題に対し意見交換をさせていただく形でサポートを行

IT専門家のいない企業からの サーバー更新についてのご相談事例

大手企業グループで不動産関連の企業からの依頼に対応しています。

依頼内容は、現在稼働しているファイルサーバーや業務システムのサーバーの陳腐化による更新の件で、当初旧システムを構築したITベンダーから提案を受けたそうです。しかしながら、その企業にはITの専門家がいないため、提案内容の妥当性が判断できませんでした。また、サーバー仕様についても複数の選択肢から判断する必要があり、この決定について困っているという案件でした。

CIO Loungeでは、システムエンジニアの出身者もあり、三名でチームを構成し対応を検討しました。

具体的には、妥当性の確認に関して、社内や親会社との納得性を得るために、①複数社によるコンペの実施、②日程計画の立案、③RFPの作成、④ベンダー提案の妥当性確認等、全般の支援を実施する内容で提案して、了解を得ました。なお、コンペにあたってはサポート会員を紹介して対応しています。

この案件は現在進行形で対応しており、オンスケジュールで取り進めています。依頼企業様からもご評価をいただいています。

IT Leaders column

「IT Leaders」の コラムに投稿

当法人では、IT・PCCのジャンルをベースに多様な分野を取り扱う(株)インプレスのWEBメディア「IT Leaders」に定期コラム「架け橋 by CIO Lounge」を掲載しています。「IT Leaders」は企業のITリーダーに向けて、IT活用と業務改革にまつわる有用な方法を日々発信しています。

「コラム」架け橋 by CIO Lounge」記事概略

第1回 理事長 矢島孝應(2022年6月9日)
難問が山積する「経営とIT」の交差点、
CIO Loungeは経営者と
CIOの架け橋を目指す

日本を代表する百選錬磨のCIO/ITリーダー達が、一線を退いてもなお経営とITのあるべき姿に思いを馳せ、現役の経営陣や情報システム部門の悩み事を聞き、ディスカッションし、アドバイスを贈る「CIO Lounge」はそんな腕利きのメンバーが集まる「コミュニティ」です。本連載では、「企業の経営者とCIO」情報システム部門の架け橋として「ユーザー企業とベンダー企業の架け橋」となる知見・助言をリレーコラム形式でお届けします。

第2回 理事 加藤恭滋(2022年6月17日)
ベンダーとユーザーの架け橋になる
その問題意識と意図

ベンダー企業が提供する技術やツールソリューションはすぐれたものが多々ありますが、それは正しくユーザー

CIO Lounge

正会員のITに対する 思いを語ります

「企業に伝わっているでしょうか? 特徴や機能をユーザー企業が正しく理解し、活用しているでしょうか? 通り一遍の機能説明で終始することなく採用事例に頼った説明に依存することもない。もちろん料金の優位性だけを訴求するのもダメ。ベンダー企業にはユーザー企業の問題意識に沿った提案をしていただけるよう、強く期待しています。」

第3回 理事 橋高政秀(2022年7月1日)
ローマ帝国に学ぶITの役割

ローマ帝国の領土統治の施策のうち2点を取り上げます。1点目はインフラ整備の重要性です。「すべての道はローマに通ず」という言葉は、皆さんも聞いたことがあるでしょう。2点目は、すぐれた標準を行き渡らせることです。ローマ帝国は、各地にローマと同じ構造機能を持った要塞都市を建設し、それが国力の維持に貢献しました。デジタルの対応はとも大切ですが、それ以上にインフラや標準を担うITの役割と全体のデザインを今一度、考え直すべきかもしれません。



架け橋 by
CIO Lounge

デジタルビジネスを
加速する
専門情報サイト
IT Leaders
(impress.co.jp)



編集後記

▼CIO Loungeは3年前にスタート(2019年1月)しましたが、皆様のご協力のお蔭でサポート会員様は89社(2022年9月末時点)、また私たちの仲間である正会員やアドバイザーも計51名と私たち自身、予想もしていなかった規模となり、当法人が目指す「IT・DXの架け橋」の手応えを日々感じています。

▼今回、CIO Loungeの活動を広く知っていただくためマガジンを発刊することになりましたが、担当させていただいた私たちが3人はいづれも雑誌作りの素人で、試行錯誤を繰り返し、何とか創刊に漕ぎ着けることができました。これも偏に原稿をお願いした会員の皆様からの細部に亘るご指導のおかげです。この場をお借りして、心からお礼申し上げます。

▼本マガジンは私たちの活動の概要をご理解いただくことを目的に編集発刊いたしました。本マガジンのみならずHPやSNS各種イベント等を通じて今後とも活動内容をリアルタイムでお伝えしていきたいと考えています。是非お楽しみに。

編集責任者・四本英夫



左から橋高、四本、齊藤



サポート会員様 Executive総会2021について

昨年、コロナが一旦収まったこともあり、1年間ご支援をいただいたサポート会員の皆様へ感謝の意を表すると共に、CIO Loungeの活動を報告する場として【Executive総会2021】を11月18日ヒルトンホテル大阪で開催いたしました。当日は、70名を超える代表および役員の方をはじめ165名の方にご参加いただき盛大な会を催すことができました。総会では、サポート会員様やユーザー企業様との活動、テーマ別検討会(中小企業経営基盤支援分科会・情報セ

キュリティ分科会・非基幹DX分科会)による活動内容を報告いたしました。懇親会ではコロナ感染対策を実施し、久しぶりに大人数での楽しいひと時を過ごすことができました。翌日には、伏尾ゴルフ倶楽部にて参加者21組81名でゴルフ大会を開催しました。天候にも恵まれ、大盛況となりました。これもひとえに皆様の温かいご支援・ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

サポート会員紹介

【プラチナ会員】

ウイングアーク1st株式会社

株式会社システムズ

上海汉得信息技术股份有限公司

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

ウィーム・ソフトウェア株式会社

株式会社アシスト

サイバーリーズン合同会社

ソフトバンク株式会社

タニウム合同会社

株式会社ロココ

日本マイクロソフト株式会社

日本Rimini Street株式会社

株式会社セールスフォース・ジャパン

SCSK株式会社

TIS株式会社

クリックテック・ジャパン株式会社

株式会社メディアテック

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ関西

株式会社アットストリーム

SAPジャパン株式会社

パナソニックコネクテ株式会社

Blue Prism 株式会社

株式会社インターネットイニシアティブ

株式会社Box Japan

PwCコンサルティング合同会社

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

日本電気株式会社 関西支社

株式会社マクニカ

トレンドマイクロ株式会社

株式会社クニエ

株式会社富士通エフサス

兼松エレクトロニクス株式会社

富士通株式会社

デル・テクノロジーズ株式会社

グーグルクラウドジャパン合同会社

株式会社NNTTビジネスソリューションズ

ピュア・ストレージ・ジャパン株式会社

Wovn Technologies株式会社

リバーベドテクノロジー株式会社

KPMGコンサルティング株式会社

オートメーション・エニウェア・ジャパン株式会社

ユニアデックス株式会社

アクセンチュア株式会社 関西オフィス

ネットアップ合同会社

インフォマティカ・ジャパン株式会社

日鉄ソリューションズ株式会社

UiPath株式会社

株式会社池田泉州ホールディングス

株式会社アイ・アイ・エム

NECネットエスアイ株式会社

フォーティネットジャパン株式会社

Sansan株式会社

o9ソリューションズ・ジャパン株式会社

ジュンパーネットワークス株式会社

TD SYNnex株式会社

Apptio株式会社

アサナジャパン株式会社

WalkMe株式会社

ディープインスタンクト株式会社

日本ブルーポイント株式会社

Nutanix Japan合同会社

Rubrik Japan株式会社

日本ビジネスシステムズ株式会社

【ゴールド会員】

レノボ・ジャパン合同会社

株式会社ディー・エヌ・エー

PTCジャパン株式会社

BIOPROGY株式会社

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

サン・エム・システム株式会社

株式会社RevComm

株式会社ディアディスクエア

コベルコシステム株式会社

【シルバー会員】

ラティス・テクノロジー株式会社

プラスアイ・コンサルティング合同会社

株式会社ソフトロード

日本ヒューレット・パッカード株式会社

スターネット株式会社

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・インタラート

株式会社PFU

NECキャピタルソリューション株式会社

オープンテック株式会社

Sky株式会社

フェンリル株式会社

トランスコスモス株式会社

日本オラクル株式会社

株式会社システム技研

株式会社野村総合研究所

SBテクノロジー株式会社

2022年9月15日現在

正会員・アドバイザー紹介

正会員

理事長 **矢島 孝應** (やじま たかお)

元ヤンマーHD (株) 取締役CIO

パナソニック、三洋電機、ヤンマー3社で情報システム責任者を経験。現在理人事長を務めながら、数社の社外取締役や顧問等の立場で活動。

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

サン・エム・システム株式会社
株式会社RevComm
株式会社ディアディスクエア
コベルコシステム株式会社

下半身ゴルフを続けるために健康に留意し大西さん(故人)に託されたCIO Loungeの発展に邁進。

理事 **橋高 政秀** (きたか まさひで)
元住友コム工業 (株) IT企画部長
入社後、情報システム部で13年SE業務。その後、購買部、人事総務部への変動を経て、2008 年に新設された IT 企画部の部長に就任。
趣味は、テニス、読書とお酒 (特に日本酒)

理事 **小林 譲** (こばやし ゆずる)
元 (株) SCREENシステム サービス 代表取締役社長
ベンダー側SE、ユーザー側IT推進責任者、子会社社長という3つの経験をしており、その知見を活かしCPO活動に取り組みます。
登山・料理・日本酒が趣味で、健康を維持し楽しく頑張ります。

理事 **坂上 修一** (さかうえ しゅういち)
元ハウスビジネスパートナーズ (株) 代表取締役社長
失敗も数多く経験しておりますので、この経験を少しでも活かせるよう、CIO Loungeの活動に取り組んで参ります。
好奇心を失わず、長くお酒、ゴルフを楽しみたいと思っております。

理事 **提督 眞賜** (さげは まこと)
1977年～2014年 (株)資生堂勤務。2014年～2021年江崎グリコ(株)に勤務。(株)資生堂では生産エンジニアをスタートに米国駐在、国際事業本部、経営企画部を経て情報エンジニア部長経験後に退職。江崎グリコでは情報システム部長。
趣味は、ジャズ鑑賞、真空管オーディオ製作、模型製作などつことが好き。

理事 **田井 昭** (たい あきら)
元コカ-Cola (株) IT担当執行役
製品開発、ITとモノづくり大好きエンジニアです。
ウクライナのDX開発企業の日本法人を設立し、日本企業の成長に貢献したく活動しています。

理事 **松井 哲二** (まつい てつじ)
1978年に京都信用金庫に入庫し、システム開発に34年3ヵ月従事。
2012年6月にシステム子会社である京信システムサービスへ転籍し、社長に就任。2021年6月に退任してCIO Loungeに加入る。
趣味は、旅行とお酒。最近はスポーツジムで有酸素運動をしている。

監事 **本郷 昭宏** (ほんごう あきひろ)
元日本電気(株) 営業本部長、元日本電気(株)販売店 代表取締役社長
正社員唯一の営業出身者として、永年の営業経験を活かしCIO Lounge事業活動に邁進します。
趣味は、ゴルフ、奈良県防災士協会会員。

安藤 啓吾 (あんどう けいご)
マクニカホールディングス(株) 執行役員
大学を卒業後、三菱商事に入社。以来32年間IT関連業務に従事。その間18年間の海外駐在(NY、パナコ)、事業会社CIO、IT子会社社長、IT部門長を経験。21年より現職。
当活動を通じ社会への貢献を目指すと共に、自ら共に学び、成長して行ければと思います。

石野 普之 (いしの ひろゆき)
日本ペイントコーポレートソリューションズ(株) 常務執行役員
新卒以来(株)リコーで7年、旭一筋37年間。米国駐在、グローバルIT責任者、ソフト子会社社長を歴任後2021年に現職に転職。
「すべてチャンスだと思え」を座右の銘にチャレンジし続けます。

坂野 則弘 (いたの のりひろ)
三菱マテリアル(株) CIOシステム戦略部長
1989年三菱化成(株)(現三菱ケミカル(株))に生産技術エンジニアとして入社。シリコンレーン駐在を機に情報システム部門へ、2021年三菱マテリアル(株)に転職。
モットー”Awareness & Compassion”

入江 学 (いりえ まなぶ)
(株)読売新聞大阪本社 役員室兼DX推進委員会委員兼事務局長 専門委員
入社以来、新聞制作システムの構築に携わる。2017年システム部長、21年DX推進委員会事務局長を経て現職となる。

岩下 敬三 (いわた けいさう)
(株)竹中工務店
右脳を使った研究開発、左脳を使った経営企画と経験を重ねた後、現在はデジタル変革に取り組んでいます。多様な方々と交流を通して、デジタルの力で日本企業が少しでも成長することを支援できればと思っています。

上田 晃穂 (うえだ あきほ)
1997年関西電力(株)入社。2016年オペレーティング格安マホmineo責任者。2019年関西電力広報室を経て2021年からIT戦略室IT企画部長。座右の銘「現状維持は退歩なり」【変わるは頭を垂れる福穂かな】「修己治人」
趣味は読書(ビジネス書)、資格取得(50個)、日本酒、マネー・ポイント。

尾内 啓男 (おうち あきお)
元(株)ワコール 執行役員 情報システム部長
2016年3月にワコールを退職。今は非常勤監査役・ITアドバイザーとして複数の会社で勤務。そして新たな愛と出会いを求めてCIO Loungeに参加。
趣味はマラソン、トレイルラン、腹筋、血洗い。

小川 真名美 (おがわ まなみ)
武田薬品工業 (株) Data, Digital & Technology担当
京都の呉服屋生まれの生粋の京女でございます。CIO Loungeではチーママ、将来はIT業界の女将を目指して精進致しております。
最近はゴルフだけでなくヨットレース・ヨガにも手を出しています^^

氏名、経歴、一言自己紹介、趣味など (敬称略・50音順)

門脇 あつ子 (かどわき あつこ)
京都リサーチパーク(株)
大阪ガス(株)情報通信部長でしたが今は不動産業の社長です! IT関連業務は4年間だけでしたが、地震、情報漏洩インシデント、大規模システムリリース、DX立ち上げと次々に岩にぶち当たりました。今は、経営層とITに取り組むべく本学コンパスに入会いたしました。

河村 潔 (かわむら じゅん)
大手電機メーカーの社内IT部門にてIT部長として従事。
新卒以降33年間、一貫して電機メーカーのSCM・会計・物流等の基幹系アプリやコミュニケーション基盤等のインフラ領域も担当。中国に5年駐在。
趣味はお城巡り。ユーザ企業とベンダを繋ぎます。

喜多羅 滋夫 (きたら しげお)
外資系企業で20年余り情報システム部門に従事した後、2013年より8年間大手食品メーカーにてCIOを務めました。現在は独立して、複数の拠点から、企業のIT部門運営やDX戦略策定と遂行に従事しています。

園枝 誠 (くにおえ まこと)
バンドジャパン(株) 代表取締役社長(上海HAND日本法人)
パナソニック(株)に職時の中国赴任(北京・上海)7年半の経験を活かし、日本と中国の橋渡し役をCIO Loungeで担当。
誰かのお役に立てることを続けていきます。

小和瀬 浩之 (こわせ ひろゆき)
製造業 CIO
消費財メーカーや機械メーカーなどで10年以上CIOとして従事し、ITを活用した経営改革・業務改革の成果が多数。ここ20年で日本の製造業は欧米のグローバル会社にて大きく差をつけられてしまいました。日本の会社も早く手を打たないと大変なことになってしまいます。

齋藤 昌宏 (さいとう まさひろ)
(株)池田泉州銀行でシステムおよびIT企画担当役員を経験(最終は監査役)。IT・DXに特に詳しくわけではありませんがCIO Loungeの一員として中小企業の課題解決に役立てればと思います。
読書、旅行・ドライブ、寺社仏閣・城郭・美術館めぐり。

清水 正明 (しみず まさあき)
元アイトック阪急阪神(株)、現(株)阪急阪神ビジネスアソシエイト
前職にて、基幹業務、交通・ビル分野のソリューション事業に携わりました。現在は経理・人事のシェアードサービスを提供しております。
趣味のメインは20年以上続けている登山、日本百名山が目標です。

白壁 誠 (しらかべ まこと)
ANAシステムズ(株) 元上席執行役員
6年間担当したANAシステム全体運用統括役員を22年3月退任 し、現在はグループデジタルガバナンス推進PMO担当です。
架け橋となり活動に貢献したいです。趣味はゴルフです。

新本 幸司 (しんもと こうじ)
(株)アシスト 元執行役員
(一社)ifLinkオープンコミュニティを始め、複数の法人や任意団体にてアンバサダー活動。またITACHIBA会議の副理事長に従事。
現在の研究テーマはイノベーションと古代史、そして神鬼。

近田 英靖 (ちかだ ひでやす)
パナソニック(株)を経て、現在はダイキン工業(株)でIT部長。
ITと経営の悩み・挑戦を皆さんと共有し、産業発展に貢献したいと願ひ参加しています。欧・中・亜の勤務経験から海外が大好き。
ぜひ一杯やりますから本音トークで解決の糸口、見つけましょう。

友岡 賢二 (ともおか けんじ)
#Fujitec #UNIQLO #Panasonic
#武闘派CIO #JAWSUG #CMC_Meetup
#NewsPicks #神戸日独協会 #CLS高知
#carp #Waseda #996C4 #サ道

名和 政邦 (なわ まさくに)
建設会社勤務を経て(株)村田製作所入社。SCMシステムのレガシーマイグレーション・グローバル展開を遂行後、現在は村田グループのインフラ、セキュリティ、コミュニケーションツール、アプリアーキ等を管轄。
趣味は旅行、ダイビング、ハイキング。

沼田 智 (ぬまた ちし)
小野薬品工業(株) 常務執行役員 デジタル・IT戦略推進本部長
武田薬品工業(株)にてビジネスのグローバル化に合わせたITの変革を推進。リ・ジョナルCIOなどを経て2020年小野薬品工業(株)入社、2022年1月より現職。
ダイナミックに変化できる企業を目指した変革を進めています。

原 和哉 (はら かずや)
積水化学工業(株) 現役 IT部門長
研究所配属以来、数々の新規事業部門を歴任し2005年よりIT部門に所属。2016年より部門長として現在に至る。
サテリャーマンがやる遊びは一通り熟します。日本酒大好き!

引地 久之 (ひきち ひさゆき)
元日本たばこ産業(株) CIOグローバルオフィス責任者
80年DEC.94年コパノク東アジア地区IT責任、IT環境合併統合実施。2008年日本たばこ産業、グローバルIT環境統合完了後、2021年退任。趣味は主夫&ワーキング。そして、止り木で「まった!」する事。中小含め次世代リーダー支援をCIO Loungeに期待しております。

平松 敏朗 (ひらまつ としろう)
元富士通(株) ITサービス会社社長。
現在は、地場の製造会社で経営情報の見える化を担当。SEとして製造業のお客様へのサービス提供の経験が長い。
今後も中堅、中小製造業のIT活用のお手伝いをしていきたい。

藤城 克也 (ふじしろ かつや)
小林製薬(株) 業務改革センター長
CIOとしては、2017年に現職に就任。現在に至る。個人に与えられた機会は平等、その結果は平等なので、宛に角、到来した機会は全て取りに書いて全力投球すること。
趣味はロードバイクで田舎道を走ってリフレッシュすること。

藤原 寿生 (ふじわら としお)
大日本住友製菓(株) IT部長を経て日立医薬系IT会社を本年2月退職
ユーザー企業とベンダーでマネジメントをそれぞれ約7年経験。両者のパートナーシップのあり方について考えたいと思います。
下手なゴルフ、飲みにお酒。

堀川 昌宏 (ほりかわ まさひろ)
情報サービス業 社長
金融機関でのシステム部門長、監査部門長、ICT企画担当役員の経験を活かし、中小企業様のITに関する課題解決をご支援したい。
休日は、'楽しく街を駆け抜けるスマイルランナー'です!

本田 隆一郎 (ほんだ りゅういちろう)
パナソニックHD(株)とヤンマーHD(株)でSCM推進を担当。
欧州でのマーケティング経験をベースに、SCM推進に関する知見とノウハウをグローバルに展開してきました。
現在はゴルフと読書三昧のハッピーシニアライフを満喫中です。

松本 邦佳 (まつもと くによし)
パナソニック(株)、日本IBMサービス(株)、(株)ゼクシス
パナソニック(株)のインフラ分野の推進責任者として、利用技術の方向付け、全社ガバナンス、インフラ業務のアウトソース等を推進
プログラミング教室の支援、ゴルフ、旅行、習い事に励みます。

松山 竜蔵 (まつやま りゅうぞう)
大和ハウス工業(株) 執行役員 (株)メディアテック 代表取締役
1988年大和ハウス工業入社以来、経理部門を歴任。2018年前任の加藤理事に呼ばれてIT部門に異動。2020年に降臨職。
現役社員の強みを生かして頑張ります。カラオケ大得意です。

森本 秀治 (もりもと しゅうじ)
(株)ワコール 執行役員 IT統括部長
ワコール入社後営業部門などを経て、3年よりIT部門へ異動。下着屋IT部門の楽しさと苦しさを実感しながら、現在に至る。
好きなこと①①タレな週末テニス ②場末な酒場での飲み

峯尾 啓司 (みねお けいし)
オムロン(株) グローバル戦略本部 コーポレートシステムPJ顧問
元(株)プリズストンITネットワーク本部長、(株)プリズストンソフトウェア社長。
米国駐在7年、工場長、SCM本部長経験、技術士(経営工学)引越15回、関西はじめてですが、社会に貢献していきたいです。

峯川 和久 (みねかわ かずひさ)
古野電気(株) IT部 部長 (財務課長→経理課長→IT部長)
テーマは「脱情報システム不要論」でアジャイル、クロスハックな組織運営やります。カンパ・カラオケオケです。テスは趣味。
関西、日本をITで盛り上げる志の方々と共にありたいです!

矢吹 哲朗 (やぶき てつろう)
東洋紡株式会社
現在はデジタル部門の部門長をしていますが、これまで約20年にわたり、業務改革を目的とした全社標準アプリの導入、セキュリティ強化等、IT基盤設計を主に担当してきました。
趣味は釣り、ゴルフ、野球観戦(埼玉西武ライオンズの熱狂的ファンです)

山本 浩平 (やまもと こうへい)
サカタインクス(株) 情報システム部長(元パナソニック(株))
現在は既存基幹システムの老朽化からサカタインクス国内へのSAP S/4HANA導入を推進中。大幅に業務標準化が進み見通し。
趣味は自動車と釣り、日本の製造業が元気を取り戻す事を祈念。

山内 憲二 (やまうち けんじ)
元三井住友海上保険 (株)執行役員、元MS&ADシステム(株)社長、東京在住
仕事はほぼIT一筋、今はIT会社の顧問や社員向けセミナーの講師をしています。IT会社は技術も大事だが人財も大事だと痛感。
ゴルフは毎週、酒は毎日、大好きな関西での活動も楽しみです。

四本 英夫 (よつもと ひでお)
元ヤンマーHD(株) グループ情報セキュリティ責任者、CIA、CISA、MBA
日本の製造業復権のために少しでもお役に立てばと思います。
趣味:テニス・ゴルフ・食べ歩き(行列でもいどず並びます)

アドバイザー

シニアアドバイザー **木下 学** (きのした まなぶ)
元日本電気(株) 執行役員副社長
NEC入社後営業一筋、現場を大切に主に流通、製造業を担当。昨年定年退職。ご縁頂いた明く元気な仲間達が目指すCIO Lounge設立に共感しアドバイザー就任。日本を元気にしたい。今後も新たな出会いを大切に、趣味のゴルフ、お酒、旅、人生100年時代を楽しみます。

金森 喜久男 (かなもり きくお)
一般社団法人 情報セキュリティ関西研究所 代表理事
パナソニックHD(株)本社情報セキュリティ本部長を経て(株)ガバ大阪社長を経験。CIO Loungeに出会い、そのユニークな活動に惚れ応援団の一員に。
映画・読書などに親しみスポーツジムで汗をかくことを好む。

菊池 武志 (きくち たけし)
(株)インターネットイニシアティブ 専務取締役 退任後 同社特別顧問
及川HUSB(株)社外取締役就任。現在に至る。新年で伊藤忠商事(株)入社。工作機械の貿易で世界を駆け回る。その後、情報システム部門の取締役(現)の新規事業立ち上げに、専ら社会立ち上げを働きかけ、【兼眼大局着手小局】を座右の銘にIT業界で30年を過ごさせてもらっています。

西田 光志 (にしだ みつし)
元TIS(株) 代表取締役副社長
現役時代の幾つもの会社システム構築や改善の経験を活かしてお役に立てればと思っています。
退任後、書道と登山を、初めました。年が若いもなく、夏には北アルプス、南アルプスを楽しんでいます。今年春は雪山も経験しました。宜しくお願いします。

森谷 浩一 (もりや こういち)
元パイオニア(株) 代表取締役社長
ご縁を大切に とにかく好奇心を持つこと。
ゴルフ 温泉 飲み食べ歩き。





お酒を飲みながら
CIO Loungeで語り合しましょう

